



行政経営



令和9（2027）年度末に
めざす状態（施策目標）

財政規律を維持しながら、社会や住民ニーズの変化
に対応できる仕事の進め方・働き方ができている

施策の主な方向性

1

持続可能な 財政の運営

税収の確保や行政改革の推進に継続的に取り組むことによって、社会経済情勢の変化や住民ニーズに柔軟に対応できる持続可能な財政運営を維持します。

2

ファシリティ マネジメント※1の推進

公共施設等総合管理計画に基づき、民間企業等と連携し、公共施設の適正配置を進めるとともに、公共施設やインフラ施設の適切な維持管理・長寿命化を図ります。

3

情報公開による 開かれた市政の推進

市が保有する情報を適切に管理、公開することにより、公正で開かれた市政の推進を図ります。



4 行政課題に対応できる組織・職場環境づくり

複雑・多様化する行政課題に対応できる組織・人員体制を構築するとともに、それぞれの職員がミッション達成に向けて能力を発揮できる職場環境づくり及び職員研修や人事評価等を通じたバリュー（職員に求められる価値観）の育成に取り組めます。

現状と課題

現状（取組成果）

- ①補助金制度の見直しやファシリティマネジメントの推進等、行財政改革の取組を進めています。
- ②後年度の経常経費の増加を意識した事業設計や市債の借入れを厳選する等の取組から、財政運営は総じて健全な状態を維持しています。
- ③納期内納付の推進と徴収率の向上に向けて取り組んでいます。
- ④生駒駅前前の公共施設の機能集約や複合化を中心に、公共施設の適正配置の調整、検討を進めています。
- ⑤市民に対する説明責任を果たせるよう、「生駒市情報公開条例」に基づき、行政文書の管理体制を整備し、情報公開制度を適正に運用しています。
- ⑥社会人採用等の取組を通じて、官民で活躍する専門性の高い人材を積極的に採用し、行政課題の解決に向けて取り組んでいます。
- ⑦人材育成基本方針 V・M・V（ビジョン・ミッション・バリュー）※2 を軸とした人事施策を実施しています。
- ⑧時差出勤、育児休業の拡大やテレワークの推進等、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

主な課題

- ①②市税収入の増加が見込めない中、高齢化に伴う社会保障関係費の歳出増加や、公共施設の更新需要の増加に加え、新たな行政課題にも対応できる財政運営を行っていく必要があります。
- ③納付環境の整備や適正な滞納処分により、納期内納付を推進する必要があります。
- ④公共施設の適正配置について、利用者等との調整を含め、計画的に進めていくことが必要です。
- ⑥⑦V・M・Vのより一層の理解・実践が課題です。
- ⑧職員の成長やモチベーションの維持向上のため、さらなる柔軟な働き方、組織全体の心理的安全性の向上が必要です。



参考資料

■ 関連する主な分野別計画

中期財政計画、公共施設等総合管理計画、公共施設マネジメント推進計画・個別施設計画、公共施設保全計画、定員適正化計画、特定事業主行動計画、V・M・Vを軸とした人材育成基本方針、障がい者任用指針

生駒市の V・M・V （ビジョン・ミッション・バリュー）

生駒市が実現を目指すまちの姿（ビジョン）

「自分らしく輝けるステージ・生駒」

= 生駒市総合計画における将来都市像



生駒市役所の使命（ミッション）

「このまちで暮らす価値を、ともにつくる」



生駒市役所・職員が大事にする価値観（バリュー）

生駒愛・人間力・変革精神



▲生駒市役所

※ 1 ファシリティマネジメント：公共施設等（公共施設とインフラ施設）について、長期的な視点で、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現すること。

※ 2 V・M・V（ビジョン・ミッション・バリュー）：市職員一人ひとりが業務を進めるうえで意識する、「目指すまちの姿（ビジョン）」「使命（ミッション）」「大事にする価値観（バリュー）」のこと。